

## 第36回定期大会開催！

J R 四国労組自動車支部は、9月4日、香川県宇多津町「ホテルアネシス瀬戸大橋」において『自動車支部第36回定期大会』を開催した。

大会は岩本書記次長の開会の挨拶で始まり、資格審査委員会、議事運営委員会の設置後、徳島分会の尾崎代議員を議長に選出し議事に入った。

冒頭、自動車支部を代表して挨拶に立った上田執行委員長は、会社を取り巻く厳しい環境のなか、この間の「安全・安心輸送」の取り組みに敬意を表するとともに、基本動作の意義やルールを徹底することの重要性についての考えを述べた。さらに、収入の確保に向けた取り組み、組織の充実・強化、効率化施策への対応及び労働条件改善の取り組み等、多くの課題の解決に向けて、明るく働きがいのある職場づくりを目指し、先頭に立って奮闘する決意を述べ、組合員各位の理解と協力を要請した。

その後、ジェイアール四国バス・吉良代表取締役社長はじめ、J R 連合自動車連絡会担当・中村部長、J R 連合自動車連絡会・西原代表幹事など、ご来賓各位の挨拶を受けた後、J R 四国労組本部を代表して挨拶に立った大谷執行委員長は、自動車支部の今日までの取り組みに対して敬意を表するとともに、当面する諸課題についてしっかり議論し、意思統一を図るよう要請した。

議事では、執行部より経過報告、会計報告・監査報告、2019年度活動方針（案）、予算（案）の提起を受けたのち質疑討論に入り、8名の代議員からの補強提案に対する執行部答弁の後、満場一致で全ての議案が承認された。役員改選では、自動車支部をけん引してきた西村副執行委員長、井上執行委員、一柳執行委員、野村執行委員、北川執行委員が退任するとともに上田執行委員長を再任し、新たな役員体制のもと新年度の運動をスタートした。

最後に、自動車支部の今後の組織強化・拡大に向け、上田執行委員長の「団結ガンバロー」で閉会した。

以上